

平成29年度「しほね女性の活躍環境整備支援事業費補助金」

(現：女性活躍のための活躍環境整備支援事業費補助金)

活用事例

- (法人名) 社会福祉法人雲南ひまわり福祉会
(事業内容) 社会福祉事業 (障がい福祉サービス)
(職員数) 48名 (正規スタッフ20名、パートスタッフ28名)
(男性スタッフ13名、女性スタッフ35名)



補助事業内容	女性スタッフのための休憩スペースの整備
コメント	<p>1. 私たちの基本方針から</p> <p>『幸せを実感してもらうためのサービスを創りましょう』 『幸せになるための職場を創りましょう』 これは、私たち法人の基本理念を達成するための基本となる方針です。</p> <p>2. 法人（会社）の存在意義は？</p> <p>はじめに、私たちの法人でのちょっとしたエピソード（会話）を紹介します (若手の女性スタッフが) 『私こんなうれしい言葉を聞きましたよ。』 と言ってきてくれました。</p> <p>ボランティアとして来てくれている学生さんに対して、『どうしてボランティアに来てくれたのかな？』と思い、尋ねてみたそうです。すると学生さんからこんな言葉を聞いたそうです。</p> <p>『お母さんが、仕事からいつも笑顔で帰ってくるんです。そして、「私の職場はこんなにいいところだよ。」って話して聞かせてくれるんです。よっぽどいいところだと思ってボランティアとして来たいと思いました。』 といったことを話してくれたそうです。</p> <p>この言葉は心から嬉しく、みんなで進んできた方向が間違っていなかったのだと、あらためて感じた瞬間でした。自分の職場を、自分にとって近い人である、子どもや友人に対して自信を持って紹介できるくらいの職場環境に高めていくことは、やはり目指すべき目標だと感じています。</p> <p>そもそも、法人（会社）の存在意義は、『法人（会社）に関わる全ての方々にとって幸せを実感してもらうため』にあるのだと思うからです。</p>

3. 私たちが実践したこと（日々の心掛けから）

私たちの法人では、スタッフ自らが知恵を出し合う『ボトムアップ方式』により、ニーズを捉え、アイデアや企画が自然と生まれています。『人は人に貢献できた実感できた時、人として輝くことができ、モチベーションが高まる』の心で、スタッフにとって『安心して働ける職場づくり・職場への定着支援』を行うことにより、『サービスの質の向上』に繋げようと、法人全体で様々な取り組みを実践しています。その中で得た『正規スタッフ離職者0（ゼロ）』（※）は、私たちにとって思い掛けないうれしい副産物であり、私たちが誇れる特色です。

『心遣いから生まれる、アイデアやニーズをかたちに残す』姿勢は、今後、法人（会社）が飛躍していくために大切なエンゲージメント（自主的貢献意欲）に繋がっていくものと考えております。

4. 女性活躍のための活躍環境整備支援事業費補助金を活用して

私たちが女性活躍のための活躍環境整備支援事業費補助金（以下「女性活躍補助金」といいます。）を活用させていただき、女性スタッフ休憩スペースを整備した当時、未整備であった休憩スペース（福祉サービスを提供するための活動場所等をやむなく共有していた）を女性専用として整備し、さらなるプライバシーの配慮に努めたいと考えたこと、また、何より、具体的に『休憩スペースを整備してほしい』との声が挙がっていたことでした。

ただ、想いを描くことは大切なことですが、その描いた想いを実践に繋げ、かたちとして残すことは、とても難しいことですし、勇気も必要となります。今回、私たちのチャレンジをしっかりと後押ししてくれたのが、この女性活躍補助金でした。

この女性活躍補助金を活用するためには、女性活躍推進法による一般事業主行動計画（以下「行動計画」といいます。）を策定し、労働局に提出することが要件の一つとされています。一見ハードルが高そうに思えるこの行動計画も、難しいことを難しい言葉で書くのではなく、自分たちが叶えたい想いを素直に載せるものであり、きっと、前述の『幸せを実感』できる職場を創るためにあるのだと思います。

5. おわりに

まだまだ微力で課題もたくさんある法人ですが、これからもスタッフ一同研鑽を重ね、『幸せになるための職場をつくる』ことで、『幸せを実感してもらうためのサービス創り』に繋げていきます。

（※）『正規スタッフ離職者0（ゼロ）』は、令和2年6月現在、9年3ヶ月継続しています。過去3年間の全パートスタッフの職場定着率は92.7%となっています。